



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成25年2月26日(火)
第2621回 例会
(本年度第30回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(3/5)のメインプログラム

鑑賞・うどん打ち家族例会

次週(3/12)のメインプログラム

ゲストスピーチ
NHK文化センター庄内教室 中里 センター長

会長挨拶

阿部純次君

本日は、2013年度 公益社団法人 鶴岡青年会議所 渡邊孝之理事長にスピーチをお願いしてあります。

また、今日は夜も、今年2回目のインフォーマルミーティングということで、塚原PGを講師として18:30分より「紅屋」さんで開催致します。真島ロータリー情報委員長他、昼も夜も出席の方は大変ご苦労ではありますが宜しくお願い致します。

本日の会長スピーチは、わたくしの職業にも関係あり、商売の原点でもあり、ロータリーにも相通じることが多い「近江商人」についてのさわりをスピーチさせていただきます。

近年でも商売の神様と言われる偉人は、松下幸之助、本田宗一郎、稲盛和夫氏 など多数おりますが、今から300年も前に現代ビジネスでもお手本となるビジネスモデルを確立していたのが「近江商人」といわれています。

近江商人とは、鎌倉時代から江戸、明治、大正、昭和の戦前にかけて活動した近江(現在の滋賀県)出身の商人のことです。大阪商人、伊勢商人と並ぶ日本三大商人の一つと言われ、今日の大企業の中にも近江商人の系譜を引く方たちが数多く活躍しております。皆さんよく御存じであると思いますが、近江商人の有名な格言として、一つに、「三方よし」という格言があります。

これは、「売手よし、買手よし、世間によし」のことを言い表したものです。商売を行うからには儲からねば意味がありません、そのためにはお客さんにも喜んで買わなければなりません。ですから、「売手よし、買手よし」は当然のことといえますが、近江商人には、このうえに「世間よし」が加わって「三方よし」となります。これは300年生きてきた理念で、近江商人特有のものとなっています。

「売手よし、買手よし、世間によし」の三方よしは、江戸中期の「麻布商・中村治兵衛宗岸(じへえ そうがん 1684~1757)」という近江商人の言葉であるといわれています。

「売手よし、買手よし、世間によし」の三方よしは、余談になりますが、いろいろなところに应用が利く格言でございまして1~2例を挙げますと、飲み会や宴会にも応用できます。「注ぎ手よし、飲み手よし、みんなによし」、またロータリーに当てはめると、「話し手よし、聞き手よし、会員皆よし」と例会等のスピーチなどにも言い換えることができます。

また2代目治兵衛は16歳の跡継ぎ宗次郎のために記した遺言状で次のように述べています。「他国に商いに出かけた場合には、その国のすべての人々に気持ちよく使ってもらうことをなにより心がけること。さらに取引そのものが相手の利益になることを考えるべきだ。自分の利益はあくまで、こうした商いができたあとの結果である。自分の利益だけを考えて、一度に大きな利益を上げるようなことはせず、なによりも行商先の人々の立場を尊重することを第一に考えるべきである、と述べております。

天秤棒を担ぎ全国へと旅立ち、一年のほとんどを他国で暮らす商人たちは自分たちが常によそ者として見られていることを強く意識し、通常以上に自分の行いや態度に注意を払っていたようです。

「ロータリーの職業奉仕と社会奉仕」の精神を、日本の近江商人、は300年以上まえに「三方よし」の精神として既に認識されていたのではないかと思います。またグローバル時代の今日でも、世界へ通用するのではないかと考えている次第です。

近江商人については「三方よし」のほかにも色々格言がありますが、今回は「近江商人の商売十訓」を紹介してみたいと思います。

出席報告

会員数	41名
出席	24名
出席率	64.86%
前回回確定出席率	86.84%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局: 鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

keep on

公益社団法人 鶴岡青年会議所 2013年度理事長 渡邊 孝之 氏

公益社団法人鶴岡青年会議所
2013年度第47代理事長を拝命
しました渡邊孝之と申します。

青年会議所(JC)は、「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った、20歳から40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。47年目を迎えるにあたって、公益社団法人へと移行しました。法人格を取得するにあたっては、6年前から担当委員会を立ち上げ議論、準備を進めてきました。審査手続きはかなり複雑なもので、慎重な審査を得て、平成24年12月11日付けで山形県公益認定等審議会から答申を受け、平成25年1月3日に社団法人鶴岡青年会議所を解散、同年1月4日に「公益社団法人鶴岡青年会議所設立」ととなりました。今回、公益認定を受けたことによって、私たちは公益(広く社会の役に立つこと)を行う法人として、次代を切り拓く気概と覚悟で、英知と勇氣と情熱をもったJAYCEEが、新たな歴史の一步を築いて行かなければなりません。本年、「KEEP ON ～喜びとチャレンジ精神を持続しよう～」のスローガンのもと、正会員89名でスタートしました。鶴岡青年会議所は1967年の創立以来、多くの先輩諸氏がJAYCEEの志を引継ぎ、成果をあげてきました。その志を引継ぐ私たちには大きな可能性と責任があると確信しています。

私たちの住むまちは、生活と経済の両面で支えてくれる、かけがえの無い基盤です。そのまちが直面している課題や変化に、私たちが明るい豊かなまちの将来を思い描き、物事の本質を見極め、自分達の可能性を信じて進み、責任を自覚し、大いなる成長と一生の友情を育むことができる鶴岡青年会議所を構築します。

また、鶴岡青年会議所で活動する機会を与えられた我々には、LOM内だけでなくLOMを越えた会員同士の交流の機会があります。出向や青年会議所で行う多くの事業に積極的に参加することにより、自らの手で作り上げることの大変さや充実感を体感することにより、一人ひとりが人としての魅力を高めることができます。時には議論を重ね、時にはぶつかり、切磋琢磨し合い共に成長し、また喜びを共有することで、仲間との一体感を得ることができる団体、それが青年会議所です。さらに、他団体や地域住民との連携と交流を図り、運動の目的を伝えることで、地域を想い未来へと繋がる「OMOIYARI」の精神を醸成していきます。個人が持つ素晴らしい力「明德」を明らかにし、結果をもたらすことができるということに気づき、「自分が変わらずに周り是不変ならない」という気概を持って行動し続けていきます。この地域には、そこで生活してきた先人の存在と遺



してきたものがあります。

また、古くから、様々な人びとを受け入れてきました。それは、地域固有の「たから」です。しかし、現代ではあらゆるところで快速便利な環境を尊ぶ価値観になりました。反面、地域コミュニティの衰退と人間関係の希薄化、地域の祭りなどの担い手不足に危機感を感じています。人と人、「親民」民に親しむことで、一体感を感じ、誇りが持てる地域の未来を創造しなければなりません。議論を尽くすことは大切なことです。しかし、机上の理論だけでなく、まずは現実を知り、見て感じて現実と向き合い受け止めることが大切なのではないでしょうか。また、問題の責任転嫁で終わらせるのではなく、自らの意志を持ち行動・発信していく責任ある個人が、参画し、時流に合った解決策を導き出す必要があると考えます。

先輩達が築き上げてきた、そして、多くのファンに支えられている「第23回赤川花火大会」、心の支援を目的に立ち上げた「希望の光プロジェクト」、昨年も行政をはじめ、多くの団体、企業、ボランティアからご協力をいただき開催することができました。たゆまぬ努力の末に仲間との真の喜びを身につけ、地域に住む人、次代を担う子供達を勇気づけてくれる笑顔と感動へ伝播していき、更には、みんなが誇りを持てる感動日本一の花火大会への飛躍を目指します。

何を伝え、何を残して行くべきなのかを考え、揺るがない信念を持ち、自身の徳性を磨き上げ、今まで以上に故郷を愛し、至善に止まることを目指し実践行動する。そして、「自分たちのまちは自分たちで創る」という気概を持ったメンバーが個々の力を結集し運動を続けて行く。KEEP ON!「明るい豊かな社会の実現」に向けてひとづくり・まちづくりに取組みます。どうぞ一年間よろしく願いいたします。

委員会報告

◆出席委員会

◎GEST

公益社団法人鶴岡青年会議所 2013年度理事長
渡邊孝之氏

◎メイクされた方

藤川享胤・加藤 亨・牧 衛

スマイル ☺

加藤 亨君 本日、夜出席できず申し訳ありません。橋本さん、色々とお世話になりました。

佐藤孝子さん 長女の中学校の同窓生の理事長、1年間頑張ってください。橋本さん、又お会いできるのを楽しみにしています。

阿部純次君 渡邊孝之理事長、スピーチありがとうございました。2013年度の鶴岡青年会議所の活動が益々活性するよう祈念致します。